

令和3年3月22日

令和3年4月14日更新

独立行政法人日本スポーツ振興センター

新型コロナウイルス感染拡大防止の対応についてのお知らせ（3月22日～）（更新）

独立行政法人日本スポーツ振興センター（以下「JSC」という。）は、国の緊急事態宣言が解除されたことに伴い、施設の営業及び業務について以下の対応といたしますので、お知らせいたします。

引き続き、施設利用者・関係の皆様、職員の健康と安全の確保のため、関連のガイドライン等を踏まえ、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から必要な対策を講じてまいります。

施設のご利用者、関係する皆様にはご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1 期間

令和3年3月22日（月）～

※内容に変更が生じた場合は、改めてお知らせします。

2 実施内容

(1) 施設の営業等

営業時間の短縮措置を終了する施設

※東京2020大会への対応のため、4月1日（木）以降は3施設とも休業しています。

施設名	営業時間（3月22日以降）
国立代々木競技場フットサルコート	(平日) 9:00～23:00 (土日祝) 7:00～23:00
国立代々木競技場室内水泳場	10:00～20:30
ハイパフォーマンススポーツセンター フットサルコート	9:00～21:00

※ ハイパフォーマンススポーツセンターの施設の利用に関しては別添を参照

(2) 職員の勤務

- ・引き続き出勤者の7割削減を目指します。
- ・テレワークによる在宅勤務環境の整備を継続します。

3 お問い合わせについて

在宅勤務等の業務体制に伴い、当センターホームページのお問い合わせフォームよりメールでのお問い合わせもあわせてご利用いただきますようお願いいたします。

- 日本スポーツ振興センターホームページ
<https://www.jpnsport.go.jp/>
- お問い合わせフォーム
<https://www.jpnsport.go.jp/corp/tabid/449/Default.aspx>

【別 添】

独立行政法人 日本スポーツ振興センター
ハイパフォーマンススポーツセンター

緊急事態宣言解除後における ハイパフォーマンススポーツセンター（HPSC）施設の利用について

ハイパフォーマンススポーツセンター（以下「HPSC」という。）の利用については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため下記のとおりとします。

1. 基本方針

HPSCの利用者であるアスリート、コーチなどの関係者の安全・安心の確保を徹底する。このために、JSCにおいては利用時の検査体制の強化などの施設利用面での対策を行う。また、HPSC利用者には、行動制限およびゾーニングの徹底を求める。

さらにJSC・HPSC従事者は、市中における行動抑制など、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に資する取り組みの徹底を行うこととする。

2. 具体的な対策について

(1) 検査体制の強化

- ・ 入退館時の敷地内外でのPCR検査等の徹底（チームドクターとの連携）
- ・ 定期検査の実施（特に館内継続利用者）
- ・ 濃厚接触者を最小限とするため、特に検査前2日間の行動に注意することの徹底
- ・ 委託業者を含むHPSCスタッフへの検査体制強化

(2) 行動制限およびゾーニングの徹底

- ・ 利用者等の不要不急の外出および移動の制限（4月12日以降は20時以降の外出を制限）
- ・ 棟をまたぐ移動などを制限することによるゾーニング
- ・ 共有エリア等での他競技の利用者との接点を減らす行動制限（トレーニングジムの時間制、宿泊室の個室利用）
- ・ 飲食の場における感染対策の徹底（食事の個室へのテイクアウト、食堂におけるアクリル板の増設、分散利用の更なる促進など）
- ・ 施設内の空きスペース（研修室等）を活用した利用者間の「3密回避」の徹底
- ・ 新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」利用の徹底

(3) 利用を必要とする者の明確化等

- ・ 利用できるアスリートの明確化（利用者の更なる限定化）
- ・ アスリートと濃厚接触の可能性が高い、国立スポーツ科学センター研究スタッフ等のうち、リモートへの切り替え可能な各種業務のテレワーク化の推進
- ・ アスリート以外の入館者制限の継続

以上